



ファルカオスポーツベース

2021年度活動報告書





子どもの居場所オープン

子供の居場所とは、「家でも学校でもなく、子どもたちが安心して過ごせる居場所と思えるような場所」のことで、「こうあるべき」といった固定概念はなく、運営者の創意工夫により多様な形で展開されているのが特徴です。

ファルカオスポーツベースは、2021年12月に日本財団の支援を受けてオープンした「子ども第三の居場所」です。学校がある日の平日・火～金曜日の放課後に、スポーツができる子どもの居場所として運営しています。わたしたちスポーツクラブの持つ強みを生かし、「子どものためのスポーツ基地」を標榜し、子どもたちがスポーツ指導者と触れ合いながら遊ぶことができる全国的にも珍しい形態の子どもの居場所です。また、管理栄養士を配置しており、安心・安全な食の提供を心がけています。

学校も学年も違う子どもたちが集まっていますが、一緒に体を動かしているとすぐに仲良くなることができるのも、スポーツの持つチカラ。これからもスポーツのチカラを最大限に活用した取り組みを展開していく予定です。



施設の内容

室内運動スペース
(Indoor Playground)



カフェ・コワーキングスペース
(Cafe and Coworking)



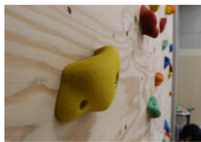
くつろぎスペース
(Relax)



導入済みのスポーツ



テックボール



ボルダリング



ポッチャ



卓球



将棋



チェス



モルック



バドミントン



ラマリオレ



けん玉



ディスクゴルフ



ダーツ

子どもから大人まで、世代間で交流することができるスポーツを導入。身体操作を伴わない、マインドスポーツと言われる将棋やチェス、ボードゲームなども楽しむことができます。専門知識を保有するスポーツ指導者のもとで、安心・安全で、豊かなスポーツ体験を子どもたちに提供しています。



居場所を一緒に育てていく

ファルカオスポーツベースは、木のぬくもりを大切にして施設を作っています。無垢の杉板を活用したスペースを、子どもたちと一緒にワックスを塗るイベントを開催しました。自分たちの居場所を自分たちで作っていく。そんな感覚を大事に育てていこうと思います。

また、スタッフたちも、出来上がった建物に息を吹き込むかのように、少しずつDIYをしながら、快適に過ごせる子どもの居場所を作りたいとおもいます。



HEROsと連携して開所式を開催

2021年12月にプレオープンし、2022年1月に盛大に開所式を開催しました。サッカーの巻誠一郎さま、HEROsプロジェクトチームリーダーの長谷川 隆治さまに方々に駆けつけて頂いたほか、梅田修一久喜市長・柿沼光男久喜市教育長・梅澤佳一埼玉県議員らが来賓として訪れ、地域の方々とともに施設のオープンを祝うことができました。また、当日は、地域の子供たちを招き、巻誠一郎さんによるサッカー教室を行うとともに、子ども食堂を開催しました。このイベントに参加した子どもたちはお腹も心もいっぱいになったとおもいます。

